

eラーニングが支える知識社会

eラーニングの推進を行う先進学習基盤協議会は、2001年9月よりビジョンタスクフォース（委員長：清水康敬国立教育政策研究所 教育研究情報センター長）を設置し、2010年やそれ以降に向けたeラーニングの将来展望を検討してきた。

現代社会においては情報技術なくして生活、企業活動などが成り立たなくなっており、社会の情報化が急速に進展してきている。教育界でも、情報技術の導入が進められ、情報技術に関する教育が行われるとともに、学習を行うためのツールとして情報技術が導入されている。情報技術は今までにない学習方法を可能にしており、様々な活用が模索されている。そうした中で情報技術を活用した学習は、これまでになく効果が指摘されるとともに、導入に当たっての注意点、問題点も徐々に明確になってきている。

このように社会環境が変わってきている中で、教育は100年の大計といわれるように長期的視点からあるべき姿を考えていかなければならない。なかでも、急速に進展する今後の10年、20年を見据えた知識社会における教育のあり方について、社会動向、技術動向などを踏まえて本質的な議論を行っていく必要がある。

現在の生徒や学生が社会人になったときに何を身に付けていけばよいのか。既に学校を卒業している人はどうしていけばよいのか。高齢者なども学ぶことを通じて満足感のある人生を送れるのではないのか。そのためにeラーニングはどのような役割を果たせるのか。本報告書は、有識者によりeラーニングの将来について検討を行ったものであり、来るべき知識社会への準備と知識社会を支えるeラーニングの推進をはかるために、「教育支援制度の充実」「教育現場の支援体制の整備と指導者育成」「研究開発基盤の整備」の3点を提言している。

目次

学習社会、知識社会の実現に向けた提言	1
1 はじめに	4
2 知識社会の展望	5
3 eラーニングという新たな学習手段	9
4 eラーニングの役割と今後の可能性	13
5 ユビキタス・ラーニングへの展開	33
6 eラーニングの持つ課題と必要な取り組み	35
参考資料	
1. 参考文献	39
2. 委員名簿	41
3. eラーニングの分類マップ	42
4. 2010-2020社会展望	43
5. 2010-2020技術予測	49
6. 2010-2020情報社会における人材モデル	54
7. 教育の情報化年表	67



報告書の入手先

先進学習基盤協議会ホームページより
PDFファイルをダウンロード

<http://www.alic.gr.jp>

連絡先

mail: vision@alic.gr.jp

先進学習基盤協議会事務局では、ビジョン報告書と並行して「eラーニング・サービスのためのアクセシビリティガイド」と「eラーニング・サービスのための個人情報保護ガイド」の作成を行ってきた。こちらは平成15年3月7日から平成15年3月19日まで先進学習基盤協議会ホームページにてパブリックコメントを実施する。これらのガイドは、お寄せいただいたコメントを元に、平成15年3月下旬に最終版として発行する予定である。